



## 4年 音楽 研究授業 ～打楽器が生み出す音のよさや面白さ、美しさとは～

昨日は、神戸博指導主事（南教育事務所仙北出張所）をお迎えしての研究会で、4年生が音楽の授業をしました。本校の音楽の研究テーマと具体的な施策は次のとおりです。

**音楽 研究テーマ** 感性を働かせて、音楽表現をしたり、音楽のよさを見いだしたりする子どもの育成

- ①子どもが主体的に活動できる学習過程を展開する。
- ②音楽活動と言語活動を行き来させながら、気付いたことや感じたことを交流し、自分の考えや感じ方を広げたり深めたりできるようにする。
- ③自分の考えや感じ方の広がりを実感できるように振り返りの場を充実させる。

当日の学習のめあては「選んだ楽器のひびきの特長を生かしてまとまりのある音楽をつくろう！」でした。前時の振り返りをもとに「今日は違う楽器でやってみたい」「自分たちで楽譜をつくってみたい」という思いを高めて授業が始まりました。グループでリズム譜をつくらたり演奏の仕方を考えたり工夫したりするなど、意欲的な学習ぶりがたくさん見られました。指導主事の先生は、子どもたちが45分間集中しながら楽しく学習していること、楽器を大切に整理整頓していること、そして演奏力・表現力の高さなどに感心していました。また、これまで授業改善に取り組んできた私たち職員にとってとてもうれしかったのは、集団で考えを深める場を褒めていただいたことです。グループの中で音楽活動と言語活動が何度も往還して、試行錯誤しながら演奏しては話し合い、そして演奏を工夫して、また話し合っって・・・という子どもたちの姿を褒めていただきました。



指導主事訪問は、理科、国語、家庭に続いて4回目となり、今年度の最後の訪問になりました。研究主任も務める鈴木政憲先生の授業で締めくくる集大成の研修となりました。しかし、日々の授業改善は今後も進めていきます。子どもたちが意欲的に学習に取り組み、「やった、できた」「〇〇さん、すごいね、とてもよかったよ」などの積み重ねをとおして、『えがおさいこう』を目指します。

## 6年 ねぎ販売収益金贈呈式 仙北市総合防災課へ寄付されます

12日（木）、仙北市の産業祭に合わせて行ったねぎの販売体験での収益金贈呈式がありました。6年生が活動したねぎの苗植えから収穫、販売などのすべてを支えてくださったSさん、そしてJA秋田おはこの菊田学さんが来校され、6年生の代表がJAへ、収益金である69,500円を贈呈しました。その後、JAから仙北市防災課へ寄付されます。Sさんのお話によると、この活動は今年で11回目（コロナ禍で行わない年もあり）となり、1回目ときは東日本大震災もあった年だったそうです。また「始めた頃は、子どもたちの一生懸命な姿をあまり見られなかったが、年々よくなってきて、今年の6年生は最高だった。」と褒めてくださいました。本当に感謝の思いでいっぱいです。



災害は、いつどこでどのように起きるかわかりません。記憶に新しい能登半島地震は今年の元日でした。様々な備えも、大事にしていきたいものです。

## 4年 認知症サポーター養成講座 ～大切なのは優しい言葉がけ～

12日(木)、仙北市包括支援センターなどから5名の方が訪れ、4年生を対象に認知症サポーター養成講座を実施しました。「認知症の人とその家族の人も支援していくこと」を目的としていて、子どもたちは、認知症の人の理解とどのように接すればいいかなどを学びました。

加齢による物忘れと認知症による物忘れの違いや、認知症の方の気持ちなどを教わった後に、寸劇も見せてくれました。認知症の方やその家族が登場する寸劇がすばらしく、子どもたちは熱心に見入っていました。そして、「大丈夫だよ」と、気持ちを察して、優しい言葉や手助けが大切であることがわかりました。

相手のことを考えた優しい言葉がけは、認知症の方だけに限らず、普段の学校生活でも大切にしていかなければならないことです。

5名の皆さん、ありがとうございました。



## くいっこたちの活躍紹介 がんばった！おめでとう！

○秋田県ジュニアボルダー・コンバインド大会 12月14日

U-8ボルダー 1位 2年 A.Sさん